



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月14日

東

上場会社名 ユナイトアンドグロウ株式会社

上場取引所

コード番号 4486

URL <https://www.ug-inc.net/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 須田 騎一郎

問合せ先責任者（役職名） 取締役 管理本部長（氏名） 岡 美恵子（TEL）03-5577-2091

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第3四半期の業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	2,549	18.1	438	58.3	439	49.9	324	6.6
2024年12月期第3四半期	2,158	—	277	—	293	—	304	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	41.16	40.95
2024年12月期第3四半期	38.81	38.37

（注）1. 2024年12月期第1四半期までは連結業績を開示しておりましたが、2024年12月期中間期より非連結での業績を開示しております。そのため、2024年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2025年7月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	3,135	2,152	68.6
2024年12月期	3,079	2,041	66.3

（参考）自己資本 2025年12月期第3四半期 2,152百万円 2024年12月期 2,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2025年12月期	—	30.00	—		
2025年12月期（予想）				13.00	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年12月期第2四半期末配当金の内訳 記念配当 30円00銭

2025年7月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年12月期及び2025年12月期第2四半期末の配当金については、当該株式分割前の金額を記載しております。2025年12月期（予想）の期末配当金につきましては、当該株式分割後の金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2025年12月期の期末配当金は26円、年間配当金は56円であります。

3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,499	16.2	539	36.5	542	31.7	392	2.2	49.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業績管理を行っておりますので、第3四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。

2025年7月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、業績予想の1株当たり当期純利益を算定しております。なお、株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、99円59銭となります。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- | | | | | |
|---------------------|---------------|------------|---------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2025年12月期 3 Q | 7,952,400株 | 2024年12月期 | 7,948,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年12月期 3 Q | 56,224株 | 2024年12月期 | 56,224株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2025年12月期 3 Q | 7,893,468株 | 2024年12月期 3 Q | 7,850,137株 |
- (注) 1. 2025年7月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。
2. 期末自己株式数には、従業員向け株式交付信託が所有する当社株式を含めております。また、期中平均株式数の計算においては、従業員向け株式交付信託が所有する当社株式を控除する自己株式を含めております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明内容の入手方法)

当社は、四半期決算説明の動画配信を行う予定です。その内容については、四半期決算説明資料とともに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(収益認識関係)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、継続する物価上昇や米国の通商政策、金融資本市場の変動が世界経済に与える影響も懸念され、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、企業の持続的な成長や競争力の強化に不可欠なITマネジメント領域を担うコーポレートIT人材（社内のITツールやシステムを効果的に活用し、ITを活用した経営課題に取り組む人材）は、国内全体での深刻な人手不足により、特に中堅・中小企業ではその獲得が非常に困難な状況となっております。

当社では、こうしたコーポレートIT人材への高い需要に応え、企業の抱える課題解決に向けて支援体制を強化すべく、人材への投資に継続して力を入れてまいりました。今後も、人材の獲得・育成・定着や、新たな特化型サービスの開発等に引き続き取り組んでまいります。

当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高2,549,044千円（前年同期比18.1%増）、営業利益438,748千円（前年同期比58.3%増）、経常利益439,637千円（前年同期比49.9%増）、四半期純利益324,857千円（前年同期比6.6%増）となりました。

当社は、第1四半期会計期間より、報告セグメントを従来の「コーポレートIT総合支援」及び「コーポレートIT内製開発支援」から、「コーポレートIT部門の業務支援事業」の単一セグメントに変更したため、セグメントごとの記載はしておりませんが、サービス別の経営成績の概要は以下のとおりであります。

① 情シス総合 〈情シスのシェアード社員〉

中堅・中小企業に対して、コーポレートIT部門を支援する会員制サービス「シェアード社員®」を提供しております。IT人材と知識をシェアすることで、中堅・中小企業のITに関する人材不足の解消、課題解決、経済的負担の軽減、企業のデジタル化を推進し、顧客の成長加速を支援しております。当第3四半期累計期間の売上高は2,290,350千円となりました。

② 内製開発 〈内製開発のシェアード社員〉

情シス総合を基盤として、ローコード開発ツールを活用した各種社内システムの内製開発を支援しております。保守メンテナンスを充実させ、内製開発に特化することによりノウハウを蓄積し、独自のチーム制開発手順により顧客側にもノウハウを残すことを目的としております。当第3四半期累計期間の売上高は157,393千円となりました。

③ ITインフラ 〈ITインフラのシェアード社員〉

第1四半期会計期間より開始した新たな特化型サービスです。

情シス総合を基盤として、サーバやネットワーク等ITインフラの構築・運用保守に特化した支援を行っております。インフラ業務に特化して蓄積したノウハウを活かし、顧客のITインフラの最適化を実現いたします。当第3四半期累計期間の売上高は101,299千円となりました。

コーポレートIT部門の業務支援事業全体としては、当期においてサービス利用規程をバージョンアップし、価格改定を実施いたしました。既存顧客のすべての実働会員に対して丁寧な説明と提案を行い、改定価格を段階的に適用開始しております。これによりシェアード社員の稼働1時間あたりの売上高が上昇いたしました。

当第3四半期会計期間末における会員数は806社（前年同期比54社増）、そのうち実働会員は242社（同17社増）、実働会員の関連会社支援社数は170社（同29社増）となり、実質支援社数は412社（同46社増）となっております。また、シェアード社員数は276人（同40人増）となり、シェアード社員の稼働1時間あたりの売上高は9,120円（同8.7%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期会計期間末における資産合計は3,135,971千円となり、前事業年度末に比べ56,904千円増加いたしました。

流動資産については、前事業年度末に比べ103,946千円増加し、2,843,814千円となりました。これは主に、現金及び預金96,309千円及び前払費用12,103千円の増加によるものであります。

固定資産については、有形固定資産が72,302千円、無形固定資産が128,679千円、投資その他の資産が91,176千円となり、前事業年度末に比べ47,041千円減少し、292,157千円となりました。これは主に、ソフトウェア31,367千円及び繰延税金資産10,272千円の減少によるものであります。

（負債）

当第3四半期会計期間末における負債合計は983,556千円となり、前事業年度末に比べ54,067千円減少いたしました。

流動負債については、前事業年度末に比べ32,352千円減少し、971,168千円となりました。これは主に、未払金126,007千円及び未払法人税等68,995千円の減少、契約負債127,834千円及び賞与引当金30,000千円の増加によるものであります。

固定負債については、前事業年度末に比べ21,714千円減少し、12,388千円となりました。これは主に、株式給付引当金20,472千円の減少によるものであります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産合計は2,152,415千円となり、前事業年度末に比べ110,971千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益324,857千円の計上及び利益剰余金214,655千円の配当によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2025年2月14日の「2024年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,701,244	2,797,554
売掛金	3,934	6
貯蔵品	113	32
前払費用	26,114	38,218
その他	8,461	8,002
流動資産合計	2,739,868	2,843,814
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	64,217	59,599
工具、器具及び備品（純額）	15,045	10,835
リース資産（純額）	3,303	1,867
有形固定資産合計	82,565	72,302
無形固定資産		
ソフトウェア	158,783	127,416
商標権	1,375	1,262
無形固定資産合計	160,158	128,679
投資その他の資産		
投資有価証券	10,000	14,974
敷金	50,828	50,828
繰延税金資産	35,646	25,373
投資その他の資産合計	96,474	91,176
固定資産合計	339,199	292,157
資産合計	3,079,067	3,135,971

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,368	4,919
リース債務	2,060	1,740
未払金	197,553	71,545
未払費用	22	22
未払法人税等	107,191	38,196
契約負債	571,722	699,556
賞与引当金	—	30,000
預り金	18,686	19,288
株式給付引当金	—	26,076
その他	100,914	79,821
流動負債合計	1,003,521	971,168
固定負債		
リース債務	1,297	31
株式給付引当金	20,472	—
資産除去債務	12,332	12,356
固定負債合計	34,102	12,388
負債合計	1,037,623	983,556
純資産の部		
株主資本		
資本金	348,102	348,487
資本剰余金		
資本準備金	308,102	308,487
その他資本剰余金	19,144	19,144
資本剰余金合計	327,247	327,632
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,405,122	1,515,324
利益剰余金合計	1,405,122	1,515,324
自己株式	△39,029	△39,029
株主資本合計	2,041,443	2,152,415
純資産合計	2,041,443	2,152,415
負債純資産合計	3,079,067	3,135,971

（2）四半期損益計算書
第3四半期累計期間

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）	当第3四半期累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）
売上高	2,158,698	2,549,044
売上原価	1,152,245	1,340,960
売上総利益	1,006,453	1,208,083
販売費及び一般管理費	729,254	769,335
営業利益	277,199	438,748
営業外収益		
受取利息	145	3,252
受取配当金	16,254	—
その他	125	199
営業外収益合計	16,524	3,452
営業外費用		
支払利息	106	85
投資事業組合運用損	—	2,434
固定資産除却損	264	39
その他	7	3
営業外費用合計	377	2,563
経常利益	293,345	439,637
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	96,705	—
特別利益合計	96,705	—
税引前四半期純利益	390,051	439,637
法人税、住民税及び事業税	90,594	104,506
法人税等調整額	△5,245	10,272
法人税等合計	85,348	114,779
四半期純利益	304,702	324,857

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（賞与引当金）

当第3四半期会計期間末においては賞与支給額が確定していないため、賞与支給見込額のうち、当第3四半期会計期間の負担額を賞与引当金として計上しております。

（従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引）

当社は、2022年11月14日開催の取締役会において、当社従業員を対象としたインセンティブ・プランとして「従業員向け株式交付信託」（以下「本制度」といいます。）を導入しております。

（1）取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として信託（以下「本信託」といいます。）を設定し、本信託が当社普通株式（以下「当社株式」といいます。）の取得を行い、従業員のうち一定の要件を充足する者に対して付与されるポイントに基づき、本信託を通じて当社株式を交付するインセンティブ・プランです。当該ポイントは、当社取締役会が定める株式交付規程に従って、従業員の表彰等に応じて付与されるものであり、各従業員に交付される当社株式の数は、付与されるポイント数により定まります。本信託による当社株式の取得資金は、全額当社が拠出するため、従業員の負担はありません。

（2）信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前事業年度末38,863千円、56,000株、当第3四半期会計期間末38,863千円、56,000株であります。

なお当社は、2025年7月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、当該自己株式数を記載しております。

（セグメント情報等の注記）

I 前第3四半期累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

当社は「コーポレートIT部門の業務支援事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

当社は「コーポレートIT部門の業務支援事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（報告セグメントの変更等に関する事項）

当社は従来、「コーポレートIT総合支援」及び「コーポレートIT内製開発支援」の2つの事業を報告セグメントとしておりましたが、第1四半期会計期間より「コーポレートIT部門の業務支援事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、新たな特化型サービスとしてITインフラ支援を開始したことに伴い、今後の事業展開、経営資源の配分及び経営管理体制の実態等の観点から事業セグメントについて見直した結果、「コーポレートIT部門の業務支援事業」を一体的な事業と捉えることが適切であると判断したことによるものです。

この変更により、前第3四半期累計期間および当第3四半期累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）	当第3四半期累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）
減価償却費	35,096千円	42,121千円

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）	当第3四半期累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）
情シス総合	2,047,047	2,290,350
内製開発	111,651	157,393
I Tインフラ	—	101,299
顧客との契約から生じる収益	2,158,698	2,549,044
外部顧客への売上高	2,158,698	2,549,044